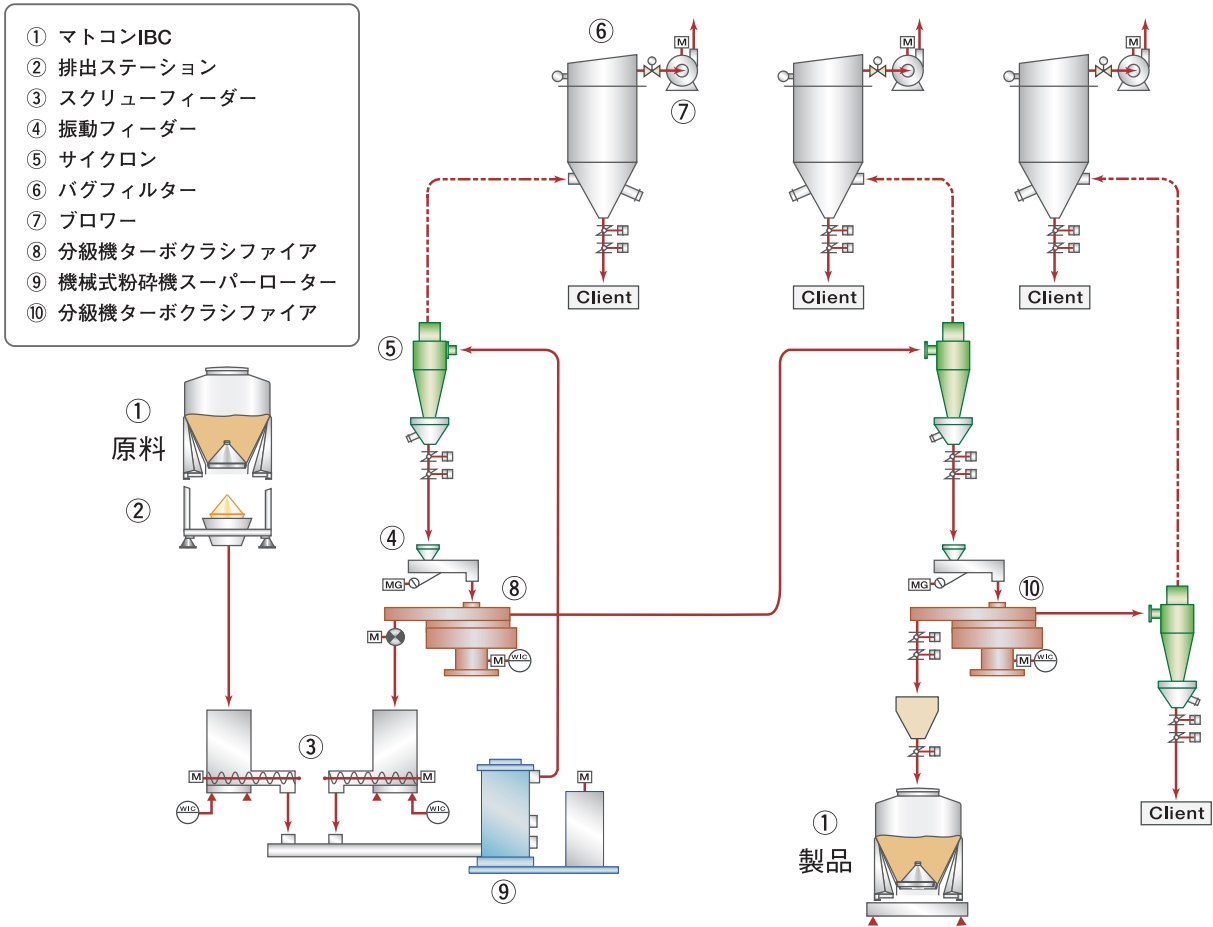


トナー粉砕分級



■ 対象粉粒体

トナー、樹脂粉、粉体塗料

■ 基盤技術

微粉砕および過粉砕防止／分散／精密分級／耐磨耗／表面改質／閉塞防止／フラッシング防止／コーンバルブ／コンタミ防止

■ 概要

機械式粉砕機（スーパーローター）と分級機（ターボクラシファイア）で閉回路粉砕した後、2段目の分級機で微粉除去をし、狭い粒度分布を持った製品を製造する。
 機械式粉砕機は、超微粉発生を押さえ、ジャガイモ状の丸い形状の粉砕品を作る。高性能分級機（2台目）で微粉を除去し、粗粉側に粒度幅の狭い製品が得られる。
 除去した微粉は、IBCバルクコンテナ（マトコン製）に入れ、前のステージの原料処理工程に戻され、エクストルーダーに原料とともに全量供給される。

■ 特長

- (1) 機械式粉砕機は微粉の発生量が少なく、一般に樹脂粉の7 μ mまでの粉砕に対応可能。
- (2) 平均粒径7 μ m以下の微粉砕では、機械式粉砕機の必要動力原単位が急激に上昇するため、ジェット粉砕機に切り替えることで5 μ mまでの粉砕に対応可能。

(3) カラートナー用に、簡易洗浄可能な設備仕様もあり。

(4) トナー・粉体塗料の粉砕では、製品の粒度幅を狭める必要があるが、微粉発生量の少ない機械式粉砕機を用いて収率の向上を図ることができる。

(5) IBCバルクコンテナシステムで、クリーンな作業環境を保て、バッチと連続を組み合わせることで、フレキシブルな生産体制を構築できる。



プラント外観



スーパーローター